



むらかみ

市議会だより

NO. **86**

令和8年5月1日



3月定例会

代表質問	2
一般質問	4
主な議案	9
議案の審議結果	14
議会の活動レポート	16
この人にインタビュー	20

ドキドキしながら元気に“ハイ”

～朝日みどり小学校 新1年生～



市議会だより

5会派が聞く

代表質問

代
表
質
問

令和8年村上市議会3月定例会は、2月24日から3月23日までの28日間の会期で開かれ、市長の施政方針や、昨年度を15億1千万円上回る410億7千万円の一般会計当初予算案をはじめ各議案を審議しました。

2月25日には当初予算案の審議に先立ち、新年度の施政および予算編成方針に対して各会派からの「代表質問」が行われました。代表質問は会派を代表する議員が、市政の運営方針や主要課題など、政策レベルでの問題点や将来に対する方針等について市長に所信をたずぬもので、質問時間は会派の所属人数によって配分されます。

質問者が作成した主な質問と答弁の要旨を掲載します。また、新年度予算案等の委員会審査の内容は、9～13ページに掲載していますのでご覧ください。

過去最大規模の予算を問う



高志会
尾形修平

問 当初予算410億7千万円と過去最大規模の予算となっているが、災害による起債の元金償還が始まる年である上に、市債の発行額は予算の一割を超える44億5千万円となっている。市長が言われるプライマリーバランス(基礎的財政収支)との整合性はどのように考えているか。

答 起債と償還のバランスを慎重に計りながら10%を超えないように心掛けていますが、単年度で見ただけではなく、今後の大型プロジェクトに向けて取り組んでいきたい。

なお、一般会計予算は過去最高額となっているが、特別会計および企業会計も含めた全体予算のバランスを考えながら、着実に事業実施に向けて取り組んでいきたい。

(質問時間 56分)

山北地域の活性化を



新緑会
上村正朗

問 勝木にある交流の館「八幡」を3月末で廃止する計画だが、合宿受け入れ等が可能となるゆり花会館の改修が終わるまで廃止を延期すべきでは。

答 改修期間については民宿や山北地域以外の宿泊施設を紹介していききたい。八幡の廃止は予定どおり行いたいと考えている。

問 北部拠点の整備をはじめ、地域に関わる事業を進めるに当たって、地元住民の参加を得る必要があると考えるが。

答 各種検討会や審議会については、公募も含めて市民に参加してもらっており、市民の参加は従来に比べて劇的に増えている。市民の意見を聞きながら事業を行っており、今後も同様に進めていきたい。

(質問時間 51分)

新年度に向け

代
表
質
問



「八幡」廃止後の対応は



鷲ヶ巣会
大滝 国吉

問 交流の館「八幡」の廃止について、地元からは心配の声が聞かれるが。

答 地元の方々とは話し合いを進める中で、これまでも山北地域を選んで来てくれる人、特に団体への対応についての要望の声を受けて、ゆり花会館の改修を計画しており、新年度早々から事業着手を目指していきたい。また、民宿や民泊に対する支援の取り組みも進めていきたい。

問 昨年、山北地域勝木川のウライが破損し、鮭捕獲に大変苦労したが今後の見通しは。

答 ウライの復旧の考え方について、漁協の将来的な部分も見据えた形で、地元漁協と協議させていきたい。

(質問時間 51分)

ジュニア防災リーダーとは



令和新風会
川村 敏晴

問 市内の中学生を対象に養成するジュニア防災リーダーの具体的な活動内容は。

答 令和7年からすでに4名の中学生を養成し、各地域の区長会に出向いて防災に関する啓発活動をしている。これまで中学生が防災に関する啓発活動を行う場面はあまりなかったが、本市の防災士会からの発案で、国に制度があることから実施にこぎつけ、全国的にも注目されている事業である。

中学生から防災に関する講話を聞くことが、地域住民の防災意識の醸成に期待できるものと考え、8年度は各中学校に2名ずつ養成予定である。将来的には防災訓練などの活動として広がりも期待している。

(質問時間 46分)



持続する行政へ人材確保は



至誠クラブ
渡辺 昌

問 これまでの「職員定員適正化計画」の期間が終了し、8年度から新たに「定員管理計画」が策定されるが、その目的とするところは。

答 合併以降の定員削減による適正化の段階から、近年の行政需要の変化や複雑化に対応するべく、安定した組織体制を目指す方向に移行する。

問 職員採用では応募者数の減少や、内定辞退者の増加が課題となっているようだが。

答 一般事務職では合格後の辞退者が多くあり、想定する職員数の確保が難しい状況がある。専門職では応募者が少ないため、応募要件の緩和や募集時期の繰り上げ、追加募集も行っている。さらにさまざまな募集方法も検討している。

(質問時間 46分)

3月定例会

一般質問は、市の行政全般について自由なテーマで市長に質問・政策提案を行い、市民の声を市政に届けるものです。3月定例会では8人の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、掲載された原稿は質問者が作成しています。

一般質問

代表質問

市政のことが聞きたい

1 新緑会 姫路 敏

1. 物価高騰対策の臨時交付金について
2. 救急搬送について
3. 瀬波温泉トンネル先線整備について

5 至誠クラブ 富樫雅男

1. 高校生等の通学定期券の購入補助について
2. デジタル版プレミアム商品券事業について

2 新緑会 菅井晋一

1. 市営住宅の建て替え事業について
2. 再生可能エネルギーの普及促進について
3. 小・中学校統合の推進について

6 令和新風会 佐藤憲昭

1. 第4次村上市総合計画の策定について

3 令和新風会 高田 晃

1. 民生委員・児童委員の活動について
2. 村上市指定文化財(天然記念物)の管理について
3. 部活動の地域展開におけるアフタースクールの構想について

7 野村美佐子

1. 学童保育について
2. 消防署の設備や装備の改善について

4 新緑会 上村正朗

1. 地域共生社会の実現を目指す取組について

8 新緑会 富樫光七

1. 中小企業の消費税納税について
2. 道の駅朝日について
3. 市営中川原住宅改築工事について
4. 鳥インフルエンザの防疫措置について



議会中継はパソコン・スマートフォンで

村上市議会では、インターネットで議会中継の動画配信を行っています。本会議当日は生中継、録画中継は本会議終了後概ね5日後(土、日曜日、祝日を除く)からご覧いただくことができます。ご家庭などでお気軽にご覧ください。

なぜ救急車は出発しないの？



姫路 敏

問 救急搬送の現状と、村上総合病院の受け入れ体制を聞きたい。

答 令和7年に救急搬送を行った人数は3181人で、3年間で300人も増加している。村上総合病院は昼夜を問わず、救急受け入れ体制を維持し、7年には1808人の救急患者を受け入れ、本市の救急医療の中核として重要な役割を担っている。

問 救急車が自宅に来て、も、すぐに出発しないので、家族が不安になる場合があるが、このような事例はよくあるのか。

答 そのような事例は救急患者の受け入れ先病院を探している際によく発生する。これは病院側に正当な理由がある場合は、受け入れを拒否できる仕組みのためである。

めである。県の受け入れ先医療機関確保基準により、受け入れを4回以上断られた場合、または30分以上探しても見つからない場合は、新発田病院の救命救急センターで一時受け入れることになっているので、現在はそれに対応している。

問 人口は減少しているが、救急車を呼ぶ件数は増えている。7年に村上総合病院からの受け入れ拒否患者は240人となっているが、大きな理由の一つに医師不足がある。これは市民の安心を確保できない喫緊の課題とと思うが対応しているのか。

答 医師の確保は喫緊の課題と認識しており、県市長会の地域医療特別対策委員会の場でも強く国・県に要望している。



市民の命を守り患者の下へ駆けつける救急車

朝日みどり小学校の統合改修



小川小学校と統合し、改修工事が行われる朝日みどり小学校

問 統合に伴う工事が3億6千万円と大きな予算となっているが、その内容は。

答 建築物定期調査等で指摘を受けた箇所の改善、外壁改修と屋根防水、トイレ洋式化や特別教室のエアコン設置、防犯対策でフェンス新設工事、スクールバス増台に伴う校内駐車場の整備、照明のLED化工事を行う。

問 教育長とも何回か話したが、私たちが提案しても統合にはお金をかけられないので、教室の増築はできない、と言われたが全く説明と違う。朝日さくら小学校との統合ではどうなるのか。

答 新設されるあさひ小学校、そして今後統合が予定される朝日さくら小学校による合同検討会で、どちらの校舎を使用するか、校名をどうするかなど話し合われる。ただ、議員ご指摘のとおり、これだけのお金を朝日みどり小学校の改修のために投資する訳で、それは重く受け止めてもらわなければならないと考えている。

問 これまで、朝日さくら小学校との統合検討会では白紙でやると教育委員会は言ってきた。しかし教育長が言うように、こんな大きな予算をかければ本当に重い話だ。朝日さくら小学校にこの説明をされたか。

答 朝日さくら小学校の地域の皆さんにも、現状でこのような工事に取り組んだということは丁寧に説明させていただく。この投資を無駄にしないような話し合いにしていかなければならないと考えている。



菅井 晋一

指定天然記念物の管理は

問 天然記念物である樹木の管理等に対する補助金制度は。

答 村上市文化財保存事業補助金制度の活用が可能であり、補助対象経費の3分の1以内で、上限300万円としている。

問 久保多町で管理している秋葉神社のケヤキ4本は、昨年の強風で枝が折れた際、委託契約を結び市が全額支払ったが、今後もうこうした方法は可能か。

答 当該案件では市街地かつ幹線道路脇で危険性が高いということで委託契約を結び、市で費用を支払った。



樹齢300年のケヤキ(秋葉神社)



高田 晃

問 平成18年に、大規模な養生工事をした際は、市が2分の1を補助したが、合併後で補助制度が変わった経緯は把握しているか。

答 その件は承知していない。

問 樹齢が百年単位になると倒木の危険性がある。自然災害が多発する中、指定解除せずに伐採できないか。

答 倒木の危険性が高いということで、伐採したのちに指定解除したという事例はある。

問 管理している区では、人的かつ財政的な面で苦労している。秋葉神社は、住民や近隣の園児も利用している場所なので、危険性を回避する場面の処理については、補助率を上げたり、別の方法で対応できないか。

答 緊急性のある場合は補助金がつくといい話でなく、リスクを回避するための行政の事務執行は当然行っていくべきだと思っている。

地域福祉のさらなる推進を



上村正朗

問 第2期地域福祉計画および地域福祉活動計画の成果と課題は。

答 重層的支援体制整備事業の導入により、包括的な支援体制の構築や居場所づくりの広がり、専門機関との連携強化に至った。一方で、少子高齢化や人口減少、過疎化の進行によりボランティアや地域活動の担い手不足が深刻化し、住民間の相互扶助機能が減衰傾向にある。

問 包括的支援体制の整備に係る「住民に身近な圏域」とは。

答 住民同士の支え合いを基本とする町内・集落単位から、福祉団体やNPO法人が活動する市域全体まで支援の状況や場面により圏域が変動するものと捉えている。



誰一人取り残さないために

問 計画の達成状況を明示化すべきでは。

答 計画の達成度の判断が容易となるよう、各分野計画の目標を用いることを検討したい。

問 人材の確保策を計画に盛り込むべきでは。

答 計画の推進はもとより、地域福祉の推進にあたっては、人材の育成が重要である。社会福祉協議会ではコミュニケーションソーシャルワーカーの配置に取り組むものと考えている。

問 障がいのある方のコミュニケーション手段に関する条例制定に向けた進捗状況は。

答 障がいのある当事者との懇談の場を設け、当事者の意見を踏まえて条例制定に向けた準備を進めたい。

学生の通学定期券に補助を



富樫 雅男

問 969人ももの高校生等が市外に通学しているが、定期券購入費用が大きな家計負担になっており、市外の学校を諦めざるを得ない方もいる。通学定期券は自己負担が当たり前という考えが根付いている一方、社会人の場合は通勤手当の支給が広く普及している。こうした現状は保護者や高校生等にもあまりにも厳しいもので、不公平とも言える。

答 家計負担の軽減だけでなく教育環境の向上にもつながると考えるが、市として通学定期券の補助制度を導入する考えは。

答 重要な視点だと考える。県では専門性等特色のある、魅力的な高校づくりに取り組んでおり、どこからでも通学できる環境づくりが重要と考えるので検証



学生の電車通学

問 昨年末から1月末まで Pay Pay アプリを用いたデジタル版プレミアム商品券が発行された。しかし、市民からは買いたくても買えないとの声も多く、小売店等の事業者からはシステムの利用料、手数料負担が重い等の声を聞いている。次回に向けた改善策は。

答 従来の紙の商品券と比較して発行事務や換金および支払いに伴う事務負担が軽減され、事業者にとっても手続きの簡素化が図られた。一方で、高齢の方から「分かりづらく使いにくい」との声が多くあり、年代別では30歳以下の購入数が少ないなど、今回の結果を踏まえ課題解決に取り組んでいきたい。

総合計画策定の基本姿勢は



次期総合計画等策定に向け慎重な議論が進む総合計画審議会

問 8年度策定予定の第4次総合計画への基本姿勢を問う。

答 8年度で終了する第3次総合計画で得た成果を更に大きく伸ばし、顕在化した課題は克服し、将来、持続する本市の姿を明らかにする、そうしたステージを目指すための計画であるべきと考ええる。

問 人口減少が加速する中、若者の定住・回帰は最重要課題と捉え、若者の生活基盤を支える施策をどう位置付けるのか。

答 若者の定住や回帰は、本市の人口減少対策において極めて重要な施策であり、重点的に進めていきたい。



佐藤 憲昭

問 本市が進めるDX（デジタルトランスフォーメーション）で行財政改革の本丸は、A-1による知的作業の内製化であり、総合計画のような高額委託料こそ、削減が可能ではないか。

答 A-1の活用等で、個々の歳出が削減される可能性は十分あるのではないかと思っている。行財政改革につながらないか検討していきたい。

問 8年度から奨学金返還補助金が拡充され、本市奨学金制度利用者だけでなく、独立行政法人日本学生支援機構の奨学金返済も対象となる予定だが、返済期間や補助額の増額等の考えは。

答 入学金やクラス経費など全体的な議論も進めている。企業が肩代わりするなど、色々な仕組みがあるため、制度の拡充等徹底的に検証していきたい。

消防署の設備や装備の改善を



車両の大型化で車庫も狭く、室内も老朽化が激しい神林分署

問 常任委員会で消防署神林分署を視察したが老朽化が進み、各所が手狭な実態に驚いた。緊急出動時に機敏に行動するためには、早期の建て替えが必要と考えるが。

答 現状は把握しており、全ての公共施設の今後の在り方を検討する中で、神林分署についても消防本部でさまざまな検討をしている。

問 神林分署は単独浄化槽で、トイレ以外の生活排水はそのまま排水されているようだ、実態は。

答 そのとおりであり、排水路付近の農地関係者から臭いに関して時々、苦情があり、消防職員が清掃



野村美佐子

している。

問 消防士の防火衣の耐用年数は。

答 メーカーからおおむね7年くらいと聞いているが、使用頻度により長持ちするものもあり、市としては期間を定めていない。

問 全国的には耐用年数を大体10年くらいとしているところが多い。本市の消防士は138人おり、その中で勤続10年以上は102人だが、防火衣を更新していない人が66人もいる。市民を守る消防士の命に関わるが、更新計画はどのようになっているのか。

答 令和3年度から年間10着ずつ更新する計画としているが、高価なため、なかなか更新が進んでいない。しかし、最前線の隊員の装備は最新かつ最良のものとなるように、引き続き装備の更新を進めたい。

道の駅朝日のリニューアル



富樫光七

問 道の駅朝日のリニューアルに当たり、管理運営候補者が選定された中で、現場からは一抹の不安の声も聞かれるが。

答 今後も地元事業者としっかりと連携していただくことは重要だと考えている。管理運営候補者からも「現在の指定管理者のノウハウを継承させてもらい、この地域にしっかりと根付いたものにしていきたい」と伺っており、市としてもどんな形での連携ができるのかと考えていきたい。

問 鳥インフルエンザ発生時に約130万羽の鶏を、早稲田地内の当時の養鶏場敷地内に埋却処分してから3年が経過した。周辺環境への影響をどのように捉えているか。



地元との連携に期待

答 地元住民から水質調査の継続を求める要望があり、現在県において調査を継続する方向で調整が進められている。本市としても周辺環境への影響を引き続き注視していく。

問 市内には中小企業が多くあるが、消費税支払いのための資金繰りや経理実務でも税負担以上の重荷になっていると考える。中小企業が取引先との関係等で価格転嫁の面でも苦労している実情について、市長の所見は。

答 市内中小企業の持続可能で安定した経営を確かなものとするため、事業者は利益を確保し、市としては資金繰りを支援することが重要であると認識している。課題を検証し、事業者の経営基盤を維持するための支援を不断なく実施する。

大型事業計画と持続可能な財政運営を

議第 20 号 村上市過疎地域持続的発展計画の策定について

3月定例会

3月定例会は、2月24日から3月23日までの28日間の会期で開かれました。この定例会には、市長から条例改正や補正予算など議案65件、議会側提案の議員発議など5件が提出されました。

問 過疎対策事業債（過疎債）を起債するための計画だが、今後の見通しは。

答 7年度は 25 億 9 千万円ほどを協議済みであり、8年度は 23 億 7 千万円ほどを予算計上している。ここ3、4年は大型事業のため、おおむね同額程度を見込んでいる。

問 過疎債は自治体にとって財政負担が少ない優良債だが、市債の償還が大型プロジェクトも含めて大きくなっていく中で、財政運営への影響は。

答 有利な起債である過疎債であっても3割分を償還していかなければならない。今後、大型事業の調整が必要になってくる時期が必ず来るので、持続可能な財政に向けてしっかりと事業の調整をしなければならないと考えている。

交流の館「八幡」を廃止 山北ゆり花会館を代替施設に

議第 51 号 村上市山北ゆり花温泉・交流の館「八幡」条例を廃止する条例制定について

施設の老朽化や耐震性の問題がある交流の館「八幡」を7年度末で廃止し、その代替施設として山北ゆり花会館を改修します

問 施設の老朽化や耐震性の問題を廃止の理由としているが、建築基準法などに抵触している状況があるのか。

答 交流の館「八幡」は耐震診断の義務化の対象ではないが、同年代に建設され、義務化の対象となった旧さんばく北小学校は耐震補強が必要と判定され工事を実施しており、交流の館「八幡」は同年代の建物である旧南中学校を再利用した施設であることや、老朽化の現状を踏まえての判断である。

問 山北ゆり花会館の改修内容は

答 個人の利用者の受け入れは考えていない。10人前後の団体が最大2組程度で宿泊を受け入れられるよう、また、同会館の福祉センターとしての機能に支障が生じない範囲で改修する予定である。現時点では10月上旬の供用開始を見込んでいる。

討論

討論とは、採決の前に議題となっている案件に対して、賛成か反対かの意見を表明し、自分の意見に賛同させることを目的としています。

反 対

代替機能整備前に交流の館八幡を廃止する計画は準備不足で、利用者に空白期間を強いる。利用者の流出や地域経済への影響も懸念され、計画的運営とは言えず改善を求める。対策説明も不十分であり本議案に反対する。(富樫光七)

反 対

宿泊客や交流事業参加者を確保するため、八幡の廃止はゆり花会館の改修が終わってからすべき。廃止が先では山北地域の活性化に支障がある。議案に問題があれば修正や否決することが市民に対する議会の責任である。(上村正朗)

賛 成

老朽化し、耐震性に課題を抱える施設は安全確保が困難であり、年度末での条例廃止はやむを得ない判断である。代替施設整備により交流の継続と新たな発展を図る第一歩になり得るものとする。(佐藤憲昭)

令和 8 年度当初予算

総額

大型事業の継続で予算規模拡大

可決

685億9千万円

当初予算案は議員全員からなる一般会計予算決算常任委員会に付託され、総務文教、市民厚生、経済建設の各分科会で審議されました。その結果、一般会計、特別会計4会計、公営企業会計3会計の全てを原案どおり可決しました。

8年度は財政健全化集中取組期間の最終年度となりますが、道の駅朝日リニューアル事業をはじめ大型プロジェクト事業の継続等により、一般会計では過去最大となった7年度当初予算をさらに15億円ほど上回る410億7千万円となりました。なお、予算の概要と主な審議内容についてお知らせします。

- **一般会計**
410億7千万円
- **特別会計4会計**
154億1千万円
- **公営企業会計3会計**
121億1千万円



〈歳入〉

一般会計の主な財源

市税 65億5千万円 (101.8%) 地方交付税 146億6千万円 (102.1%) 国庫支出金 49億1千万円 (119.1%) 県支出金 26億9千万円 (118.0%) 繰入金 18億9千万円 (72.4%) 市債 44億5千万円 (106.4%) ほか

() 内は前年度比

財政調整基金からの繰入

9億6,000万円

問 毎年度9億円ほどの財政調整基金の繰入れによって予算を組むのは、財政健全化の取り組みと相反するのではないか。

答 予算編成上では財政調整基金に頼らざるを得ない状況となっている。決算時に取り崩さずに済むよう予算執行を抑制し、この2年間は取り崩していない。財政健全化の取り組みを進めるとともに、予算執行を抑制しながら運用をしていく。

市民税

25億2,469万円

問 納税義務者がかなり減少していると思うが、昨年度より1億3千万ほど多く見込んだ理由は。

答 全体の83%ほどが給与所得者であり、給与所得が上がっているのが一番大きい理由である。

J・クレジット売却収入

220万円

問 J・クレジットの販売状況は。

答 7年度から実施しており、1トン当たり

※ J-クレジットとは？
CO₂などの温室効果ガスの排出量削減や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度のこと

1万1千円で223トン売却した。最も多い売却先は東京都荒川区の212トンで、8年度にも荒川区に売却予定があり200トンを計上した。

〈歳出〉

公共施設照明のLED化

継続 3億8,398万円

公共施設や防犯灯のLED化により、公共施設からの二酸化炭素排出量を大幅に削減することも、電気料金や修繕費などの経費を削減します。

問 市全体でのLED化はどのくらい進んでいるのか。また、防犯灯についての状況は。

答 今年1月末現在、全体のLED化率は51.8%である。防犯灯では7年度に670灯を更新し、3月末に8%ほどLED化率が上がると見込まれる。8年度は750灯の更新分を計上した。

統合し新たな火葬場を整備

継続 1,905万円

3カ所の火葬場を統合し、村上火葬場の隣接地に新たな火葬場を整備します。

問 新たな火葬場の供用予定は。

答 12年度中の供用を目指し取り組んでいる。

問 火葬場の統合の進め方は。

答 新たな火葬場の完成により、村上和荒川の火葬場を統合し、山北火葬場については若干距離があるので、日治道の延伸により移動時間が短縮された際に山北火葬場も統合する計画がある。

認定地域クラブ活動として地域展開

継続 3,439万円

中学校の部活動を「認定地域クラブ活動」として総合型スポーツクラブに委託し、運動部はすべての活動を、文化部は休日の活動を地域展開とします。また、平日の放課後に「アフタースクール活動」を行い、生徒の学びの時間の確保や活動機会を創出します。

問 平日の練習でスポーツ振興車を使用した場合、運転手の手配や費用はどのようになるのか。

答 現在使用料は徴収していないが、今後、国や県等の支援がなくなった場合には、参加費とは別に負担をお願いしなければならない。

子どもたちの過ごしやすい学校へ施設を整備

拡充 4億6,866万円

小・中学校の統合計画を踏まえながら、それ以外の学校でも施設の整備を進めます。

問 朝日みどり小学校の具体的な工事内容は。

答 トイレの洋式化、外壁の修繕、特別教室のエアコン設置、統合に伴う駐車場の整備、外構やフェンス等の各工事である。

問 小中学校の普通教室にはすべてエアコンが設置されているが、特別教室の設置状況は。

答 7年度全ての中学校の特別教室にエアコンを設置した。小学校の特別教室は朝日みどり小と山辺里小の2校で着手し、数年かけて全小学校への設置を進めていく。

有害鳥獣対策の強化

継続 2,647万円

有害鳥獣の被害防止へ、担い手の確保と環境整備の推進を図るため、有害鳥獣被害対策担当の集落支援員を各地域に配置します。

問 7年度は各所でクマの出没が多くあったが、狩猟免許を持つ人を公務員として任用するガバメントハンターの配置は検討されなかったのか。

答 ガバメントハンターではないが、第一種銃猟免許を持つ猟友会の方を会計年度任用職員が集落支援員として採用し、本庁及び各支所に配置する。

道の駅朝日をリニューアル整備

継続 15億3,119万円

道の駅朝日のメイン施設をリニューアル整備し、産業振興や観光など地域活性化の拠点として、また、さまざまな交流の拠点として、施設の魅力を高めるよう機能の充実を図ります。メイン施設は9年度オープン予定。

老朽化した市営中川原住宅を建替え

継続 1億4,110万円

市営住宅の建て替えで、1階部分を住居ではなくピロニイ構造にしたのは、事業の補助金の利用に国や県などから条件指定があったのか。

答 あくまでも災害を想定した構造の設計であり、補助金に対する国や県からの条件はなかった。

問 3年間で18億円強の事業費が計上されている。設計見直しで事業費を抑えることはできないか。

答 仕様の一部見直しを含め検討していきたい。

民間事業者がEV充電器設置

問 公共施設に設置されたEV充電器の状況は。

答 市の公共施設に、民間事業者が21カ所のEV充電器を設置している。以前に市が道の駅等に設置したものは耐用年数が過ぎているため、民間事業者によるEV充電器に順次切り替えている。



イヨボヤ会館に設置された充電スタンド

市民後見人が選任

問 本市の市民後見人の現状は。

答 昨年12月に第1号となる市民後見人が誕生したが、活動をフォローする体制がまだ未整備なため、社会福祉協議会が監督人という形で家庭裁判所から専任された。活動をフォローする専門的な体制の整備を検討している。

訪問看護ステーション

問 新規となる村上市岩船郡医師会の訪問看護ステーションへの補助

金の内容は。

答 旧村上市から訪問看護ステーション設立を要望した経緯があり、これまで赤字になることはなかったが、民間事業所が増えたことから、訪問看護ステーションの利用者が減少し赤字になる可能性があるということで、今回要望があり予算を計上した。

企業版ふるさと納税

問 企業版のふるさと納税のマッチング支援業務委託の効果は。

答 7年度の企業版ふるさと納税は20社で、そのうちマッチングサイトを活用した寄附は9件となる。この支援事業委託者の方へは、寄附総額の平均10%程度の手数料を支払っている。

伝統的建造物群保存事業

問 国の伝建制度導入に地域の方から全面的な同意が得られなかったとのことだが、最終的に地域の同意が得られなかった場合はどうなるのか。

答 対象となる町内では、「反対」というより今の段階では判断できないという意見だった。今後は、住民の方に丁寧に制度について説明するとともに、すでに伝建制度を導入している自治体への視察を行いながら、慎重に進めていきたい。

スキー場の有効活用

問 県の新潟つ子スキー体験拡大パイロット事業がなくなったが、民間事業者が再開したスキー場を有効活用するためにも、学校のスキー授業を支援できないか。

答 県の補助事業はなくなったが、生涯学習課予算で体育支援事業があるので、その中でスキー授業に活用できる予算を確保する。

デジタル版プレミアム商品券

問 今年度実施したデジタル版プレミアム商品券の検証や、今後の展開についての考えは。

答 事業者からは新たな手数料負担が発生することへのマイナスの意見もあったが、DX化の推進にも寄与していると捉えており、今後はデジタル版と紙ベースでの複合的な取組の施策として必要なのではないかと考えている。

教育支援センター

問 教育支援センターの利用状況は。

答 教育支援センターは5カ所設置され、全体の不登校児童生徒数は6年度末で106人おり、年々増加している。利用者数は設置教室により登録人数が異なり、少ないところで1人、多いところで6人、年間で430人から450人ほどの延べ利用回数がある。

高速のりあいタクシー

問 実証運行している新発田病院通院対応の高速のりあいタクシーの利用状況は。

答 昨年の10月から開始し、10月から今年1月までの利用者の合計は107人となっている。



新発田病院正面玄関前の乗降場所

お城山の遺構の整備

問 お城山の遺構の整備計画はこの先いつまで続くのか。

答 今着手している黒門跡の石垣の積み直しを15年度に終わらせる予定で、石垣修復の方は一旦終了。その後は訪れる方々の安全性であるとか、崩落危険箇所の補修、補強工事に対応していく。

公営企業会計

(支出)
予算額 121億3,671万円

公営企業会計は、地方公営企業法の適用を受け、原則として独立採算制で運営される会計です。その年度の経営損益を示す「収益的収支」と、将来の経営に備えて行われる建設改良事業などの資本取引をしめす「資本的収支」に区分した会計方法が用いられています。

会計名		収入	支出
上水道事業会計	収益的	12億3,460万円	11億9,040万円
	資本的	6億1,639万円	11億626万円
簡易水道事業会計	収益的	3億4,820万円	3億4,820万円
	資本的	4億1,750万円	5億5,371万円
下水道事業会計	収益的	38億6,000万円	38億6,000万円
	資本的	38億1,204万円	50億7,814万円

特別会計

予算額 154億2,772万円

特別会計は、ある特定の目的のために実施する事業について、収支を明確にするため一般会計とは別に経理する会計です。本市には下表のとおり4つの特別会計があります。

会計名	予算額	前年度比
土地取得特別会計	2億3,972万円	35.6%
国民健康保険特別会計	55億5,000万円	100.7%
後期高齢者医療特別会計	11億4,800万円	120.0%
介護保険特別会計	84億9,000万円	98.0%

※「情報通信事業特別会計」は通信サービス事業の終了により、令和7年度末で特別会計を閉じ、8年度から一般会計へ移行しました。

令和7年度 補正予算

シロザケ養殖研究の事業を岡山理科大学に委託

シロザケ養殖研究等委託料 250万円

問 シロザケ養殖研究事業の進捗状況は。

答 岡山理科大学に提供した鮭の発眼粒が無事にふ化して9割ほどの生存率で、2月末で4センチメートルほどの大きさになっており、今後大きな水槽に移して飼育していくと思われる。今回共同研究として進めているが、将来的には市内の陸地での養殖事業への展開を検討していきたい。

議案審議結果

◎=全会一致で可決、同意、承認 ○=賛成多数で可決、同意、承認

議案番号	議案名	結果	議案番号	議案名	結果
議員発議第1号	村上市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第26号	村上市選挙公報発行条例の一部を改正する条例制定について	◎
議員発議第2号	森林環境の整備によるクマ被害防止対策に関する意見書の提出について	◎	議第27号	村上市行政手続条例の一部を改正する条例制定について	◎
議員発議第3号	物価高騰から市民生活を守る決議	◎	議第28号	村上市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第1号	村上市固定資産評価審査委員会委員の選任について(村山 誠氏:再任)	◎	議第29号	村上市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第2号	村上市固定資産評価審査委員会委員の選任について(川崎光一氏:再任)	◎	議第30号	村上市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第3号	村上市固定資産評価審査委員会委員の選任について(八藤後茂樹氏:再任)	◎	議第31号	村上市職員等の旅費に関する条例制定について	◎
議第4号	村上市固定資産評価審査委員会委員の選任について(吉村和昭氏:再任)	◎	議第32号	村上市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について	○
議第5号	村上市固定資産評価審査委員会委員の選任について(斎藤 誠氏:再任)	◎	議第33号	村上市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第6号	村上市教育委員会委員の任命について(能登谷愛貴氏:新任)	◎	議第34号	村上市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第7号	専決処分の承認を求めることについて(専第1号 令和7年度村上市一般会計補正予算(第13号))	○	議第35号	荒川総合体育館耐震改修及び大規模改修(建築)工事の工事請負変更契約の締結について	◎
議第8号	専決処分の承認を求めることについて(専第2号 令和7年度村上市一般会計補正予算(第14号))	◎	議第36号	市有財産の譲与について(岩沢区)	◎
議第9号	専決処分の承認を求めることについて(専第3号 令和7年度村上市一般会計補正予算(第15号))	◎	議第37号	村上市と栗島浦村との間の戸籍に係る電子情報処理組織の事務の委託の廃止について	◎
議第10号	令和8年度村上市一般会計予算	◎	議第38号	村上市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	◎
議第11号	令和8年度村上市土地取得特別会計予算	◎	議第39号	村上市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について	◎
議第12号	令和8年度村上市国民健康保険特別会計予算	◎	議第40号	村上市乳児等通園支援事業に係る利用者負担額に関する条例制定について	◎
議第13号	令和8年度村上市後期高齢者医療特別会計予算	◎	議第41号	村上市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第14号	令和8年度村上市介護保険特別会計予算	◎	議第42号	村上市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第15号	令和8年度村上市上水道事業会計予算	◎	議第43号	村上市民の命の大切さと心の絆を深める条例及び村上市民の命の大切さと心の絆を深める自殺対策検討委員会条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第16号	令和8年度村上市簡易水道事業会計予算	◎	議第44号	村上市児童館条例を廃止する条例制定について	◎
議第17号	令和8年度村上市下水道事業会計予算	◎	議第45号	生きがいデイサービスセンター山北ほたるの家条例を廃止する条例制定について	◎
議第18号	関川村との定住自立圏形成協定の変更締結について	◎	議第46号	市道路線の認定について	◎
議第19号	栗島浦村との定住自立圏形成協定の変更締結について	◎	議第47号	神林有機資源リサイクルセンター条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第20号	村上市過疎地域持続的発展計画の策定について	◎	議第48号	村上市漁港管理条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第21号	村上市辺地に係る総合整備計画の変更について(小岩内)	◎	議第49号	村上市里道等管理条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第22号	村上市辺地に係る総合整備計画の変更について(高根)	◎	議第50号	村上市河川管理条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第23号	村上市文化財保存活用地域計画協議会条例制定について	◎	議第51号	村上市山北ゆり花温泉・交流の館「八幡」条例を廃止する条例制定について	○
議第24号	村上市長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例制定について	◎	議第52号	朝日有機センター条例を廃止する条例制定について	◎
議第25号	村上市議会議員及び長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例及び村上市議会議員及び長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎			

※網掛けの議案は次ページに賛否を掲載しています。

議案番号	議案名	結果
議第53号	道の駅「朝日」(地域振興施設)電気設備工事の工事請負契約の締結について	◎
議第54号	道の駅「朝日」(地域振興施設)機械設備工事の工事請負契約の締結について	◎
議第55号	令和7年度村上市一般会計補正予算(第16号)	◎
議第56号	令和7年度村上市土地取得特別会計補正予算(第1号)	◎
議第57号	令和7年度村上市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	◎

議案番号	議案名	結果
議第58号	令和7年度村上市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	◎
議第59号	令和7年度村上市介護保険特別会計補正予算(第3号)	◎
議第60号	令和7年度村上市水道事業会計補正予算(第3号)	◎
議第61号	村上市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	◎
議第62号	令和7年度村上市一般会計補正予算(第17号)	◎

各議員の賛否

◎：会派の代表者 *：会派の経理責任者

議案番号	高志会					鷺ヶ巣会				新緑会				令和新風会			至誠クラブ			野村美佐子	賛否結果		
	◎尾形修平	*小杉武仁	長谷川孝	鈴木一之	魚野ルミ	◎大滝国吉	*鈴木いせ子	山田勉	河村幸雄	◎菅井晋一	*上村正朗	富樫光七	姫路敏	◎川村敏晴	*高田晃	佐藤憲昭	◎渡辺昌	*富樫雅男	三田敏秋※1		賛成	反対	
議第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	18	1
議第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	18	1
議第51号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	14	5

※1 議長は地方自治法第116条第2項の規定により表決に参加していません。

陳情の審査結果

件名	所管委員会	審査結果
臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情	県外からの郵送による陳情は、原則として委員会で審査せず、全議員への配布にとどめる取り扱いとしています。	

※陳情は所管常任委員会の協議会で審査され、委員全員の了承により願意了承となります。

人事案件

教育委員会委員の任命に同意しました(任期:令和8年5月21日~12年5月20日)

教育委員会は市長から独立した行政機関として位置付けられているため、教育委員会委員は議会の同意を得て、市長が任命しています。



の と や あ き
能登谷愛貴氏(新任)

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました(任期:令和8年5月20日~11年5月19日)



むらやま まこと
村山誠氏(再任)



かわさき こういち
川崎光一氏(再任)



やとう ご しげあき
八藤後茂樹氏(再任)



よしむら かずあき
吉村和昭氏(再任)



さいとう まこと
斎藤誠氏(再任)

固定資産評価審査委員会は、固定資産の評価額に対する納税者からの不服を審査・決定するため、地方税法に基づき設置された中立的な機関です。委員は議会の同意を得て、市長が選任します。

議会の活動レポート

地域を見る、聞く

議会の活動レポート

ごみ収集事業の実態は

2/13 市民厚生常任委員会

ごみ収集事業の現状等に関して、環境課とごみ収集事業者より説明を受け、現状と課題を把握した後、今後の対応や方策について意見交換を行いました。

ごみ収集事業の現状

家庭ごみの収集は、合併後しばらくの間は旧市町村ごとに分別種別や収集回数が異なっていました。令和元年度から収集方法の統一が行われました。収集業務については、合併前に業務を行っていた7事業者が引き続き行っています。

業務委託料は、市が事業者ごとに協議、決定していましたが、6年度に収集事業者会が組織されたことを契機に、7年度から当該組織と協議して委託料を決めることとしました。

事業継続への課題と対策

事業者から説明を聞き、市の委託料が実際の経費に見合わず、賃金の関係から人手不

足が解消できない現状があり、事業が継続できる委託料の必要性を認識しました。環境課から、業務委託料について、県内市町村や他県の先進地の状況を調査して、9年度に向けて検討していくとの回答がありました。

また、作業中に交通事故に遭う危険性がある事例については、安全対策を講ずるよう環境課に要望しました。



露店市場の現状と課題は

2/2 経済建設常任委員会

条例改正に当たり、委員会での議論となった市内露店市場の現状と振興策等について、事務調査を実施しました。

買い物手段の多様化

市民生活を支え、伝統ある六斎市ですが、近年の出店は平均14店舗となっており、かつて100人を超えた市場組合員も70人ほどに減少しています。その大きな要因は、出店者の高齢化や後継者の不在に加え、量販店やインターネット販売など、買い物手段の多様化が進み、事業者が参入しづらい環境になったことが挙げられます。

活性化策への取り組み

振興策として、キッチンカー等の多様な出店も可能となるよう条例改正を行いました。本市の重要な観光資源としてにぎわいを創出できるように、多面的な取り組みと集客に向けた行政支援が必要ではないかと判断されます。

小学生が自分たちで裁



培したお米を販売する活動を継続的に実施してきた事例もありますが、委員からは、村上桜ヶ丘高校の生徒が丹精を込めて栽培した野菜や花きの販売による参画も提案されました。

六斎市は大正から続く歴史ある市場で、最盛期には約500店舗が出店し多くのにぎわいと共に市民に親しまれてきましたが、活性化に向けて委員会でも研究を進めていきます。

公有財産の利活用に向けて

2/9 総務文教常任委員会

用途廃止となった公有財産の利活用を推進する目的で、行政視察や現地視察等を行い、昨安市長に要望書を提出しました。今回はその後の進捗状況等を調査しました。

体制整備の進捗状況

昨年4月から財政課に財産活用推進室が設置され、管理や売却などの相談窓口が一本化されました。今後は行政目的での利活用を企画戦略課を中心に検討し、利用しないと確定すれば民間への開放方針を決定し、普通財産として、財政課で適正な対価で譲渡すべく手続きを進める流れになります。

売却候補財産の周知と発信

市ホームページでの周知以外に、候補地に看板を設置したり、県宅建取引業協会と売買仲介に関し協定を結んでいます。また、今後も官公庁オークションを活用して市外事業者にも働きかけたり、サウンディング型市場調査を行い、

民間事業者と積極的なコミュニケーションを図っていききたいとのことでした。

学校統廃合を見据えて

廃校となる校舎等は、行政財産から普通財産に移管するため関連規則を改正し、また、統廃合計画の進捗状況に応じて、事前にサウンディング型市場調査を行い、民間事業者の意見も聞いて検討しているとの説明がありました。



洋上風力発電事業に期待

3/17

再生可能エネルギー等調査特別委員会

本市および胎内市沖での洋上風力発電事業について、昨年5月に事業者である村上胎内洋上風力発電株式会社から事業概要の説明を受けたところですが、今回、その後の事業の進捗や変更点について伺い、質疑や意見交換を行いました。

風車の仕様や工程の変更

当初は18MW級（世界最大級）の風車46基設置の計画でしたが、風車の15MW級への仕様変更を検討していることや、また、洋上建

地域共生策の取り組み

地域との良好な関係の構築や地域の発展を目的とした地域共生策では、陸上工事の事業企画説明会を本市や胎内市、県がそれぞれ主催し、現在、28社の県内企業を採用し連携を進めています。

また、市内小中学校への出前授業等の実施、地域イベントへの協賛や参加、首都圏における県内水産物のプロモーションなどの活動が説明されました。

委員からは、漁業への影響調査の状況や、鮭の帰巣など自然環境への影響についての質疑のほか、地域の活性化や地域経済の振興など、洋上風力発電に期待する意見が多く出ました。

課題を共有し共に発展を

1/29

県市議会議長会 春季定期総会

県市議会議長会の春季定期総会が新発田市を会場に開催されました。この会は、各市の正副議長で構成され、地方行政の各般にわたり調査し、各市の発展に寄与するとともに各市相互の意思疎通を図ることなどを目的としています。

会議では会長提案の議案のほか、各市から諸課題に関する

12議案が提出され、全ての議案が全会一致で可決されました。また、新潟県の鈴木副知事より、県の施策について講演いただき、理解を深めました。今後各市の課題を共有するとともに、国や県をはじめとした関係機関等に要望活動を行っていくこととしています。



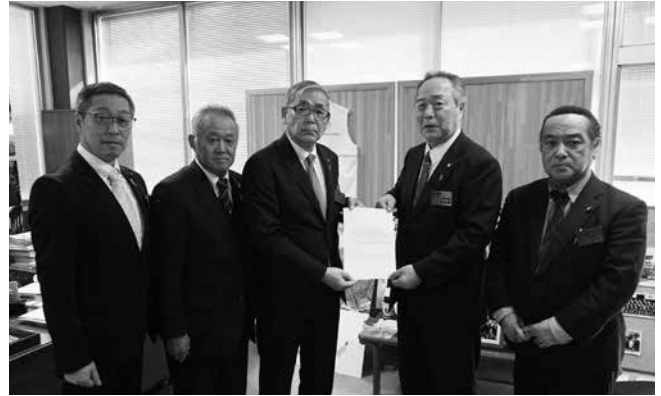
課題解決に向けた要望活動を実施

市議会では、喫緊の課題解決に向けて市長に対して、以下の申し入れを行いました。

「道の駅朝日リニューアルについて」

2月24日

日沿道朝日温海道路延伸工事と並行して、道の駅朝日は令和9年のリニューアルオープンに向け、事業が進められており、昨年にはリニューアル後の管理運営候補者が選定されました。そのような現状を踏まえて、経済建設常任委員会で議論を重ね、市議会として市長へ申し入れを行いました。



道の駅朝日リニューアルに関する申し入れ

地元企業・団体を育てることは、行政として大事な務めである。道の駅朝日がリニューアルオープンする際は、新たな管理運営候補者と地元事業所との協力体制が形成され、地元事業所も一緒に繁栄していく体制が構築されるよう連絡調整や機会創出を図っていただきたい。

「消防署神林分署の早期方針決定について」

3月23日

村上市消防署神林分署は神林地域を中心に管轄するとともに、日本海沿岸東北自動車道へのアクセス性の高さから、高速道路上の事故への救急搬送業務を補完するなど、重要な役割を担っています。



しかし、建物は建築から45年が経過しており、老朽化に加え車両の保管や署員の待機に十分なスペースが確保できないといった課題を抱えています。そのような現状を踏まえて、総務文教常任委員会で議論を重ね、市議会として市長へ申し入れを行いました。

消防署神林分署の早期方針決定に関する申し入れ

公共施設マネジメントプログラムで荒川分署との統合も検討されたが、その後、統合ではなく移転も含めて方針を転換されたと拝察している。方針の決定が先に延びれば、市民の安全・安心を守るための分署の機能や署員の労働環境といった課題がより深刻さを増していく。一刻も早く方針を決定し、具体的な移転等の時期を明確化されるよう要望する。

議長交際費の支出状況

村上市議会では、「村上市議会議長交際費の支出基準」を定め、議長交際費の適正かつ公正な支出に努めています。7年度の議長交際費の支出状況は次のとおりです。各月の支出内容については、市議会ホームページをご覧ください。

(単位：円)

祝儀	会費	弔慰	見舞い	接遇	贈答	その他	計
0	131,840 (21件)	193,490 (12件)	0	0	48,522 (6件)	86,500 (3件)	460,352

祝儀：記念式典、総会、行事などへのお祝いに係る支出
 会費：記念式典、総会、行事などへの参加に係る支出
 弔慰：議会関係者などに対する香典などに係る支出
 見舞い：議会関係者の病気などに対する見舞金、災害などによる見舞金に係る支出

接遇：議会への来客陣いなどに係る支出
 贈答：議会運営上必要な相手への贈答に係る支出
 その他：上記以外の支出



村上高校

村上高校では「イヨボヤプラン」と題して、「地域を知る」課題に取り組んでいます。

今年度は、1年生117人が8つのテーマごとに3つの班に分かれ、1月の校内発表に向けたポスター作成の一環として、まずは11月14日に、議会運営委員の他に4人の議員も参加して、それぞれのテーマを担当し市の現状説明等を行いました。

生徒の皆さんが取り組まれたテーマは、①荒川について、②農作物が鳥獣被害にあわなためには、③身近な「いわふね杉」と私たち、④村上歴史講座、⑤市議会の役割と仕組み、⑥村上駅周辺まちづくり事業、⑦ふくしのはなし、⑧村上市の地域包括ケアシステムについて、です。

生徒たちにしつかり伝えられるように、議員側も事前に準備して臨みましたが、参加した議員からは、かなり深く踏み込んだ質問が多くあった、との声が聞かれました。

プレゼンで成果を披露

1月23日に、それぞれの班が練り上げた地域活性化案に

ついて、ポスターセッション形式によりその成果を発表しました。

当日には、各班が作成したポスターが体育館内に貼り出され、それぞれの班が精一杯のプレゼンテーションで学習の成果を披露し、議員からの質問にもしつかりと答えられていました。

この取り組みを通じて、生徒の皆さんに地元愛が育まれ、将来的に故郷村上市で大いに活躍されることを願います。



村上市の将来を語ろう

高校生と議会が共に考える

村上市議会では、村上市を担っていく若い世代である高校生を対象に、議員が市内3つの高校と中等教育学校に出向いて「高校生と議会の懇談会」を実施しています。今号では、村上高校と村上中等教育学校での様子を紹介します。

村上中等教育学校

1月27日に、議会運営委員の他に3人の議員が参加して、ポスターセッションによる発表会が実施されました。

初めに、4年生64人が16班に分かれ、「未来の村上について考える」をテーマにさまざまなアイデアを練り上げ、描いたポスターを掲示し、各班の代表者がプレゼンテーションを行いました。

ひとつの班の発表時間が4分と制限され、班ごとに考えた「村上の未来像」について、メンバーで役割分担しながら発表しました。多くの生徒や議員の前での発表で、緊張した様子の生徒の方もいましたが、それぞれに思いが詰まった内容でした。

多彩なアイデアを発表

「村上の山、川、海の自然を楽しむ施設を作って観光客を呼び込む」「空き家、空き校舎などを有効に活用し、それらをつなげる交通手段を確立させ、住みやすい村上にする」「村上のおいしい食材を活用して観光客の胃袋をつかめ」などの提案があり、

ポスターにもイラストや図表が多用されていました。

全16班の発表後、議員が全ての提案に対して評価点を付け、そのうち4つの提案を選出しました。上位4つは「村上に彩を！」「カモンSP計画ー鮭(Salmon)と人(people)が来なくなる村上作り」「村上の魅力伝える。むらたび」「胃袋つかめ大作戦!!」となりましたが、どれも素晴らしい提案でした。

生徒皆さんの提案を基に、さらに意見交換する場があれば、実現への一歩につながるものと感じました。



この人に インタビュー

言葉の架け橋に

外国語指導助手 (ALT)
マナンサラ ローラン さん



■自己紹介をお願いします

私は、アメリカ・カリフォルニア州ロサンゼルス、ドジャースの本拠地から来ました。日本にルーツがあり、幼い頃から日本文化に親しんできました。大学で日本語を学び、言語交流に携わりたいという思いから2022年に来日しました。

■お仕事の内容を教えてください

朝日地区の3つの小学校と朝日中学校で英語の授業をサポートしています。週に一度、朝日地区公民館で子どもから大人までの英会話教室も担当しています。英語を通じて世界とつながる楽しさを感じてもらえる授業を心がけています。

■今後の目標を教えてください

外国語の習得は難しい面もありますが、「楽しい!」「分かった!」という気持ちを大切に、皆さんが自信を持てる授業を工夫していきたいです。私自身の日本語力も高め、より良いサポートができるよう努力していきます。

■村上市での暮らしはいかがですか

村上市での生活はとても素晴らしく、地域の皆さんの温かさに日々支えられています。イヨボヤ会館や藤基神社などの文化施設、スケートパークや飲食店巡りも楽しみです。笹だんごやポップ焼きなどの和菓子も大好きで、瀬波の景色や友人との出会いも大切な宝物です。

■これからの夢やメッセージをお願いします

将来はアメリカで小・中学校の教師として働くこと、また翻訳家として言葉の架け橋になることが目標です。料理は少し苦手なので、外食を楽しみながら地域の魅力を感じています。これからもぜひ気軽に声をかけてください!

Let's enjoy communication!

身近な市議会へのきっかけに

市議会では、定例会の様子や議会の活動を市民の皆さまにお知らせするため、市議会だよりを年4回発行しています。各常任委員会から選出された委員6名が、身近な議会へのきっかけとなるような誌面作りに努めています。

委員会の任期満了に伴い、現委員では今号が最後の市議会だよりとなりましたが、今後も、議会の様子をわかりやすくお伝えできるよう取り組んでいきます。

議会広報特別委員会

渡辺 昌 (委員長) 魚野ルミ (副委員長)
佐藤憲昭 小杉武仁 上村正朗 富樫雅男



令和8年 6月定例会のお知らせ(予定)

5月28日(木)	請願・陳情の提出期限(正午まで)
6月11日(木)	定例会初日(本会議)
15日(月)	
16日(火)	一般質問(本会議)
17日(水)	
18日(木)	総務文教常任委員会、一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会
19日(金)	市民厚生常任委員会、一般会計予算決算常任委員会市民厚生分科会
22日(月)	経済建設常任委員会、一般会計予算決算常任委員会経済建設分科会
25日(木)	一般会計予算決算常任委員会
30日(火)	定例会最終日(本会議)

*この日程は変更されることがあります。
*開会時間は午前10時です。